

平成17年度 第16回 関東高等学校バスケットボール新人大会

平成18年2月12日(日)

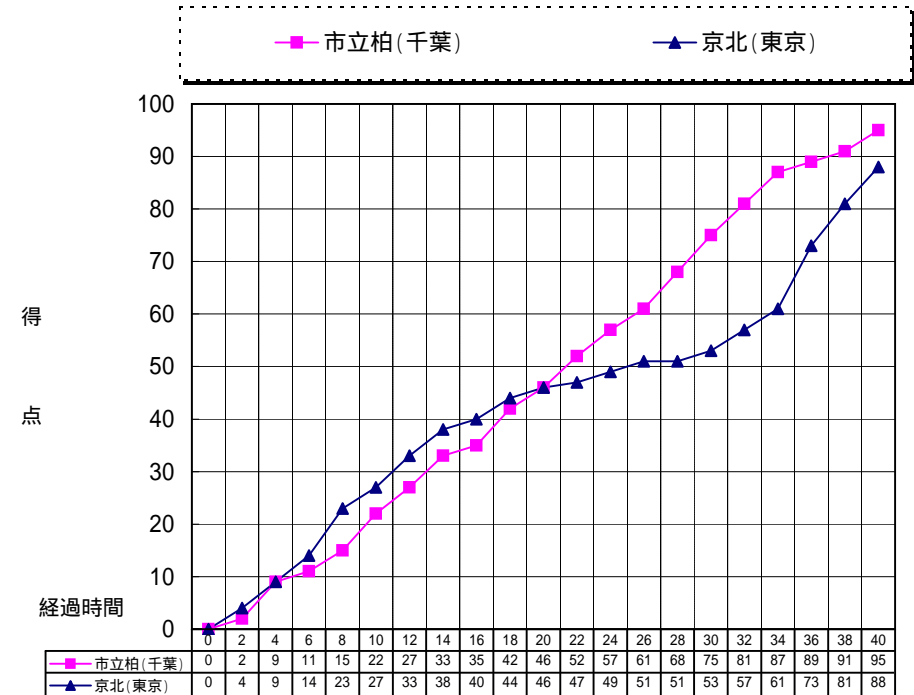
【男子】 準決勝 小瀬スポーツ公園体育館 Bコート 第2試合

市立柏(千葉)	95	$\left. \begin{array}{l} 22 - 27 \\ 24 - 19 \\ 29 - 7 \\ 20 - 35 \\ - \end{array} \right\} 88$	京北(東京)

市立柏(千葉)		コーチ 飯沼加寿夫														
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシストパス	スティール	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	柳亮祐	27	3	6	7	9	4	4	1	0	1	1	4	3	0	5
5*	宇田川一馬	5	0	2	2	12	1	2	2	4	3	7	1	2	1	0
6*	本田勇真	8	0	1	4	9	0	0	4	3	2	5	4	2	0	2
7*	于春龍	41	1	1	17	22	4	4	1	7	9	16	1	1	4	2
8*	井上幸浩	10	2	5	2	3	0	0	2	0	1	1	5	1	0	3
9	南田隼人	4	0	0	2	5	0	0	1	1	3	4	5	3	0	1
10	上口真弘	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	小野壮晃															
12	中村翔太															
13	鎌田崇史															
14	森田洋章															
15	野平悠介															
16	柴田和紀															
17	三好泰之															
18	鈴木優弥															
チーム										2	0	2				0
合計		95	6	15	34	63	9	10	11	17	19	36	20	12	5	14
*:スターティングメンバー		確率	40.0%		54.0%		90.0%									

京北(東京)		コーチ 田渡優														
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシストパス	スティール	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	二ノ宮康平	35	3	8	12	17	2	3	4	1	1	2	2	4	0	5
5*	平田将	3	1	5	0	0	0	0	0	2	2	4	0	5	0	2
6	池田亮介	4	0	1	2	4	0	0	1	0	1	1	2	0	0	2
7	平夏樹	4	0	1	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2
8	藤間昭平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9*	田渡修人	28	4	6	7	11	2	2	3	3	7	10	4	6	1	3
10*	秋真志	4	0	0	2	5	0	0	2	1	3	4	0	0	0	6
11*	金賢	4	0	0	1	4	2	3	3	1	3	4	1	0	3	0
12	吉田宗真															
13	上原拓也	6	2	4	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0
14	神本忠															
15	石井悠太															
16	新谷翔															
17	木村亮太															
18	山下泰史															
チーム		0										0				
合計		88	10	25	26	44	6	8	16	8	19	27	10	15	4	20
*:スターティングメンバー		確率	40.0%		59.1%		75.0%									

2分毎による得点の推移



戦評

市立柏ハーフマンツ、京北1-2-2と2-2-1を組み合わせ、オールコートゾーンから2-3ゾーンでゲームがスタート。京北は#4二ノ宮、#5平田、#9田渡らのスピードあるドライブなどで加点し、ゲームの主導権を握る。これに対し、市立柏は#7干の力強いゴール下のプレーなどで応戦し、46-46で前半終了。3Q、市立柏が、京北#4二ノ宮に対するディフェンスを強化すると、京北のリズムが崩れ、ミスが始める。京北は2分、5分と早いタイミングでタイムアウトを取るが、流れは変わらない。市立柏は素早いパスとドライブで京北ディフェンスを切り崩し、着実に加点。75-53と市立柏のリードで3Q終了。4Q京北はゾーンプレスを強化し、市立柏のミスを誘うと#13上原、#4二ノ宮、#9田渡の連続得点で一気に追いつける。しかし、あと一步届かず95-88で市立柏が勝利した。互いの持ち味を生かした好ゲームであった。

主審 平育雄 (指名)

副審 河野仁 (山梨)

記入者 渡辺文章 (高体連)